

<b>令和3年度 指定管理者施設管理評価シート</b>			<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課	
<b>施設名称</b>	20	東京都台東区立あさくさ高齢者在宅サービスセンター	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区浅草4-26-2 [規模] 延べ床面積 4,588.35㎡の内360.52㎡ RC造地上5階地下1階のうち5階の一部 機能訓練室、食堂、休憩室、娯楽室、介護教室、理・美容コーナー
(3)	[委託事業] ①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 一般型デイサービス：40名、認知症対応型デイサービス：12名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）午前8時30分～午後6時15分
(6)	[人員体制] 15名 （内 訳）生活相談員（常勤3）、ケアワーカー（短労5、臨時職員5）、看護師（常勤2）  （前年増減）3名減（生活相談員（常勤-1）、ケアワーカー（短労-2））

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料（指定管理料）	6,586,000	6,586,000	25,522,000	32,422,000
	利用料金収入	117,056,000	112,777,419	97,576,000	77,506,430
	その他収入（ サービス区分間繰入金等 ）	4,262,000	0	4,940,000	9,115,293
	計	127,904,000	119,363,419	128,038,000	119,043,723
支出	人件費	78,147,000	84,671,655	78,457,000	74,248,538
	光熱水費	10,440,000	9,497,040	10,510,000	7,471,153
	維持管理費（委託料・賃借料）	21,153,000	20,598,571	21,665,000	21,160,702
	修繕費	1,830,000	143,684	1,770,000	222,464
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（ サービス区分間繰入金等 ）	16,334,000	14,259,452	15,636,000	20,930,145
計	127,904,000	129,170,402	128,038,000	124,033,002	
収支			-9,806,983		-4,989,279

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
定員（一般型デイサービス）	人	-	40	40	30
定員（認知症対応型デイサービス）	人	-	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
利用率（一般型デイサービス）	%	-	71.9	77.3	51.1
利用率（認知症対応型デイサービス）	%	-	77.6	68.2	67.6

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
-

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の提出書類について、適切に提出を行っている。また、新型コロナウイルス感染症対策として、日常的な施設内の消毒等、施設における感染拡大が発生しないよう徹底した感染予防を実施した。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	令和3年度から施設の大規模改修を実施するにあたっての準備として、サービス利用者を他の事業所に移転を行ったため、利用率は段階的に減少した。他事業所サービスへの移行に当たっては、利用者や利用者家族とも連携を取りながら、円滑に移転を実施した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	日常的な建物の維持・管理や区への報告は適切に行われており、感染症対策として館内清掃・消毒についても適切に行われている。経年劣化により更新が必要な設備については令和3年度実施の大規模改修において改修を予定している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者やその家族に向けて実施した利用者満足度調査の結果においても、サービス提供体制についての好意的な意見が多く、利用者の意見も取り入れながら日々のサービス向上に取り組んでいる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	大規模改修に向けた施設規模の縮小により人件費や光熱水費は令和元年度に比べ削減されたものの、年度末でサービス提供を中止するにあたり、デイサービス利用者が先行して他事業所に移るなどしたため、利用料収入が伸び悩み、収支がマイナスとなった。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
—	点

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 96 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>大規模改修の実施にあたり利用者の他事業所への移転を行ったため、それに伴い定員数についても縮小となった。新型コロナウイルス感染防止対策を行った上でサービス提供は適切に行われており、良好なサービス運営がなされていた。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>一般デイサービス利用者の他事業所の移転により、利用率が減少して収支がマイナスとなった。改修後のサービス再開時は一般デイサービスが廃止となり、認知デイサービスのみ提供となるため、より効率的なサービス運営が求められる。</p>